

活動報告

| 開催日 | 報告内容 |
|----------------|---|
| 2022年 6月11日 | <p>日本工業所有権法学会2022年度研究会（対面及びオンライン）</p> <p>場所：早稲田大学</p> <p>橘 雄介（福岡工業大学社会環境学部助教）</p> <p>「米国における特許権の間接侵害制度の展開と日本法への示唆」</p> <p>※詳細については、本誌第51号から連載中の論文を参照されたい。</p> <p>同シンポジウム「サプライチェーンにおける特許権侵害」</p> <p>鈴木 将文（名古屋大学大学院法学研究科教授）</p> <p>「趣旨説明」「複数主体による侵害」</p> <p>※司会も担当した。</p> <p>中山 一郎（北海道大学大学院法学研究科教授）</p> <p>「間接侵害」</p> <p>田村 善之（東京大学大学院法学政治学研究科教授・北海道大学名誉教授）</p> <p>「消尽」</p> |
| 2022年 6月13日 | <p>パブリック・ドメイン研究会（オンライン）</p> <p>大西 洋子（Senior Lecturer in Law, Roehampton Law School, University of Roehampton）</p> <p>「サステイナブルファッションにおける商標法の有効性」</p> |
| 2022年 6月20日 | <p>知的財産法研究会（オンライン）</p> <p>曾澤 恒（北海道大学大学院法学研究科教授）</p> <p>「商務長官の任命した特許審判官による審判を違憲とした合衆国最高裁判例」</p> |
| 2022年 6月21日 | <p>パブリック・ドメイン研究会（オンライン）</p> <p>Branislav HAZUCHA（北海道大学大学院法学研究科教授）</p> <p>“A Role of Public Domain in Cultural Production: A Case of Open-Source Software and Mash-Up”</p> |
| 2022年 6月25日 | <p>パブリック・ドメイン研究会（オンライン）</p> <p>橘 雄介（福岡工業大学社会環境学部助教）</p> <p>「Kimble最高裁判決を通して見る米国における特許権のミスマッチの展開—財産権・反トラスト・パブリックドメインという観点から」</p> <p>※詳細については、本誌第53号掲載の論文を参照されたい。</p> |

| | |
|------------------------|---|
| <p>2022年 7月11日</p> | <p>国際シンポジウム「サプライチェーンと知的財産制度－特許消尽論を中心として－」（オンライン）（東京大学未来ビジョン研究センター知的財産権とイノベーション研究ユニット・同大学大学院法学政治学研究科先端ビジネスロー国際卓越大学院プログラムと共同開催）</p> <p><Session 1> Supply Chain and the Patent System: With Special Reference to Exhaustion</p> <p>モデレーター：田村 善之（東京大学大学院法学政治学研究科教授・北海道大学名誉教授）</p> <p>パネリスト：</p> <p>宮本 智子（Head, Patents and Treaties Law Section, Patent and Technology Law Division, WIPO）</p> <p>鈴木 将文（名古屋大学大学院法学研究科教授）</p> <p>松永 章吾（ゾンデルホフ&アインゼル法律特許事務所弁護士）</p> <p><Session 2> How Future Technologies will Change the IP System</p> <p>モデレーター：渡部 俊也（東京大学未来ビジョン研究センター教授）</p> <p>パネリスト：</p> <p>Ulrike TILL（Director, IP and Frontier Technologies, WIPO）</p> <p>吉岡（小林） 徹（一橋大学イノベーション研究センター講師）</p> |
| <p>2022年 7月12日</p> | <p>パブリック・ドメイン研究会（オンライン）</p> <p>青木 博通（ユアサハラ法律特許事務所弁理士）</p> <p>「商標の剥離（剥奪）抹消・変更は商標権侵害か？－ローラーステッカー事件大阪地裁・高裁判決及び諸外国の法制を題材に－」</p> |
| <p>2022年 7月23日</p> | <p>知的財産法研究会（オンライン）</p> <p>阿部 光利（出光興産株式会社知的財産部）</p> <p>「平成15年改正無効審判請求人の地位の一般承継の可否（知財高判平成23年9月20日平成22年（行ケ）10369号）」</p> <p>※詳細については、本誌に掲載予定の評釈を参照されたい。</p> |
| <p>2022年 7月29日</p> | <p>知的財産法研究会（オンライン）</p> <p>嶋 拓哉（北海道大学大学院法学研究科教授）</p> <p>「家畜遺伝資源不競法の国際的適用範囲に関する一考察」</p> |
| <p>2022年 7月30日</p> | <p>パブリック・ドメイン研究会（対面及びオンライン）</p> <p>場所：東京大学</p> |

| | |
|---------------|--|
| | Enrico BONADIO (Senior Lecturer in Law, The City Law School, City, University of London) Marc MIMLER (Senior Lecturer in Law, The City Law School, City, University of London) “Patents Limitations and Exceptions: The Latest Developments” |
| 2022年 8月9日 | パブリック・ドメイン研究会（オンライン） 平澤 卓人（福岡大学法学部講師） 「仮想現実・拡張現実における商標の保護」 |